

2011 年 11 月 24 日

Kyot. Prot. N. 87/2011
京都教区 共同宣教司牧ブロック
担当司祭および信徒の皆さんへ

京都司教 パウロ大塚喜直

2012 年 司教年頭書簡

信 仰

～信仰の恵みを生きよう～

2012 年ブロック司教訪問の趣意書

1. 2012 年の教区テーマ

京都教区は 2011 年「信仰」をテーマにして、キリスト者が神からの呼びかけに対して「本物の信仰」によって応える「本物の信者」になることを目指し、各自の信仰を内面から問い直しました。

来年は、信仰をあかしする生活を深めるために、その一つの方法として、『ロザリオの祈り』を参考にしたいと思います。

『ロザリオの祈り』は、福音のメッセージ全体の深みを含んでいます。ちなみに来年は、ヨハネ・パウロ二世が 2002 年 10 月 16 日に発布した使徒的書簡『おとめマリアのロザリオ』の 10 周年にあたります。教皇はの中で、洗礼と受難の間のキリストの公生活の秘義を黙想する「**光の神秘**」を加えることを提唱されました。

現行の『ロザリオの祈り』は、「**喜びの神秘**」（受肉の神秘）を月曜日・土曜日に、「**光の神秘**」を木曜日に、「**苦しみの神秘**」（キリストの受難）を火曜日・金曜日に、「**栄えの神秘**」（復活の栄光）を日曜日・水曜日の順序で唱えます。

今年の年頭書簡で 11 の質問の形で提示したのは、「信仰のセンス」の 11 の働きでした。来年は、この信仰のセンスと『ロザリオの祈り』の 4 つの神秘の各 5 つの黙想を関連させてみました。『ロザリオの祈り』を唱え、一つひとつの「聖母の取り次ぎの願い」を黙想しながら、信仰をよりいっそう具体的に生きることをイメージできたらと思います。

『ロザリオの祈り』は個人の観想の祈りであるだけでなく、家族、社会、国、教会、そして全人類に起こるすべての出来事の中で祈りを必要とする隣人を、マリアとともに心に収めることができます。だからこそ、『ロザリオの祈り』はマリアとともに、苦しむ人々との連帯の祈りともなります。

来年の『ロザリオの祈り』は特に、**東日本大震災と福島原子力発電所事故の被災者**と連帯し、その復興と支援のために捧げましょう。

ベネディクト十六世教皇は、来年の 10 月から特別年「信仰年」を開催されます。「信仰年」は、第二バチカン公会議開幕 50 周年の 2012 年 10 月 11 日に始まり、2013 年 11 月 24 日の王であるキリストの祭日に終わります。（教皇ベネディクト十六世自発教令『ポルタ・フィデイ ―「信仰年」開催の告示』2011 年 10 月 11 日）

来年京都教区の私たちは、信仰のあかしをテーマに歩みながら、この信仰年の準備を始めましょう。

2. ブロック司教訪問のプログラム

＊来年のブロック訪問は、訪問する小教区の通常時間の日曜日のミサから始まります。

1. 主日のミサ（60 分）
2. 司教講話（40 分）
3. 『ロザリオの祈り』を共に唱える（30 分）

① ブロック内のミサについて

＊ブロックの事情に合わせて、ブロック内の各教会の主日のミサをすることを、担当司祭の判断にゆだねます。

＊ブロック訪問日に、ブロック内の他の小教区でも、可能なら、ミサのあと、ブロック訪問教会と心を合わせて、『ロザリオの祈り』を共同体で唱えてください。

② 司教ミサの典礼について

ミサは、その日の「主日の典礼」です。

ミサの準備の中で、年頭書簡の「信仰」に関連して工夫する。

例：共同祈願、歌など。

3. 2012 年 ブロック司教訪問日程

①	2 月 12 日	奈 良	北部ブロック	富 雄 教 会
②	2 月 26 日	滋 賀	湖西ブロック	唐 崎 教 会
③	3 月 18 日	三 重	北部ブロック	亀 山 教 会
④	5 月 13 日	京都南部	山城ブロック	田 辺 教 会
⑤	6 月 3 日	京都北部	舞鶴ブロック	西 舞 鶴 教 会
⑥	6 月 17 日	京都南部	京丹ブロック	桂 教 会
⑦	7 月 1 日	京都南部	洛北ブロック	高 野 教 会
⑧	7 月 8 日	三 重	南部ブロック	津 教 会
⑨	7 月 15 日	滋 賀	湖東ブロック	草 津 教 会
⑩	9 月 2 日	京都北部	宮津ブロック	加 悦 教 会
⑪	9 月 9 日	奈 良	南部ブロック	西 大 和 カトリックセンター
⑫	9 月 16 日	京都南部	洛東ブロック	山 科 教 会

以上。